

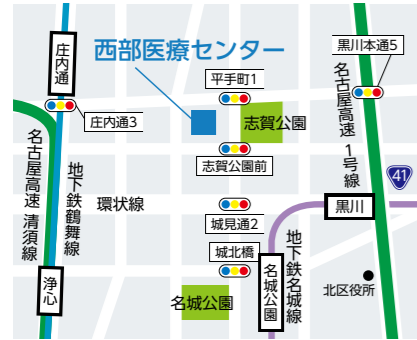
名古屋市立大学医学部附属

### 西部医療センター

名古屋陽子線治療センター

〒462-8508  
名古屋市北区平手町1丁目1番地の1  
TEL:052-991-8121

外来受付時間  
月曜～金曜 8:45～11:30  
(陽子線治療センターは完全予約制)



### 東部医療センター

名古屋市立大学医学部附属  
〒464-8547  
名古屋市千種区若水一丁目2番23号  
TEL:052-721-7171

外来受付時間  
月曜～金曜 8:45～11:30



名古屋市立大学医学部附属

### みらい光生病院

〒465-8650  
名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地  
TEL:052-704-2345

外来受付時間  
月曜～金曜 8:45～15:30



### 名古屋市立大学病院

〒467-8602  
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地  
TEL:052-851-5511

外来受付時間  
月曜～金曜 8:30～11:00



名古屋市立大学医学部附属

### リハビリテーション病院

〒467-8604  
名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2  
TEL:052-680-8123

外来受付時間  
月曜～金曜 8:45～15:30



名古屋市立大学医学部附属

### みどり市民病院

〒458-0037  
名古屋市緑区潮見が丘一丁目77番地  
TEL:052-892-1331

外来受付時間  
月曜～金曜 8:45～11:30



# 名古屋市立大学 医学部附属病院

## 大学病院ダイジェスト2026



### ご寄附のお願い

各病院では、診療研究、人材育成及び医療環境の充実を図ることを目的として寄附金を募集しております。皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。詳しくは各病院のウェブサイトをご参照ください。



# 「地域の命を、未来へつなぐ」 救急災害医療センター開棟

救急災害医療センターは、救命救急センター・集中治療センター・総合周産期母子医療センター・血液浄化センターを一棟に集約した施設です。ドクターカーの24時間運用をはじめ、搬送直後に処置をするための初療室を2床から10床に増設し、地域の救急医療体制を支えます。また、大規模災害時にも、救急医療はもとより分娩や透析を含めた「止まらない医療」を提供できる体制を整えています。継続的な急性期医療の提供と救急・災害医療を担う人材の育成を通じて、地域の安心・安全に貢献していきます。



## 免震構造

想定される巨大地震時には、免震装置が建物の揺れを軽減し、揺れによる医療機器の損傷などを防止することで、災害拠点病院として必要な診療機能を維持します。

## スロープ

災害時のエレベーター停止や復旧の遅れに備え、1階から屋上ヘリポートまでを全長約700mの1本の通路でつないでいます。他の病院に類を見ないこの通路は、緩やかな勾配によりストレッチャー移送も可能です。

## 災害時仮設病床

災害時に3日間で約300人の被災重症患者の受け入れが想定されるため、仮設ベッドを配置できる病床設置スペースを確保しています。

## ヘリポート

地上から41.4mにあり、中型ヘリコプター（総重量11t程度）の離着陸が可能です。緊急の患者搬送のほか、災害時の広域搬送や当院病棟・中央診療棟ヘリポートとの併用による同時多機搬送にも対応します。

## 6つの病院からなる名古屋市立大学医学部附属病院群



名古屋市立大学理事長  
郡 健二郎

## 地域とともに歩む 名古屋市立大学附属病院群

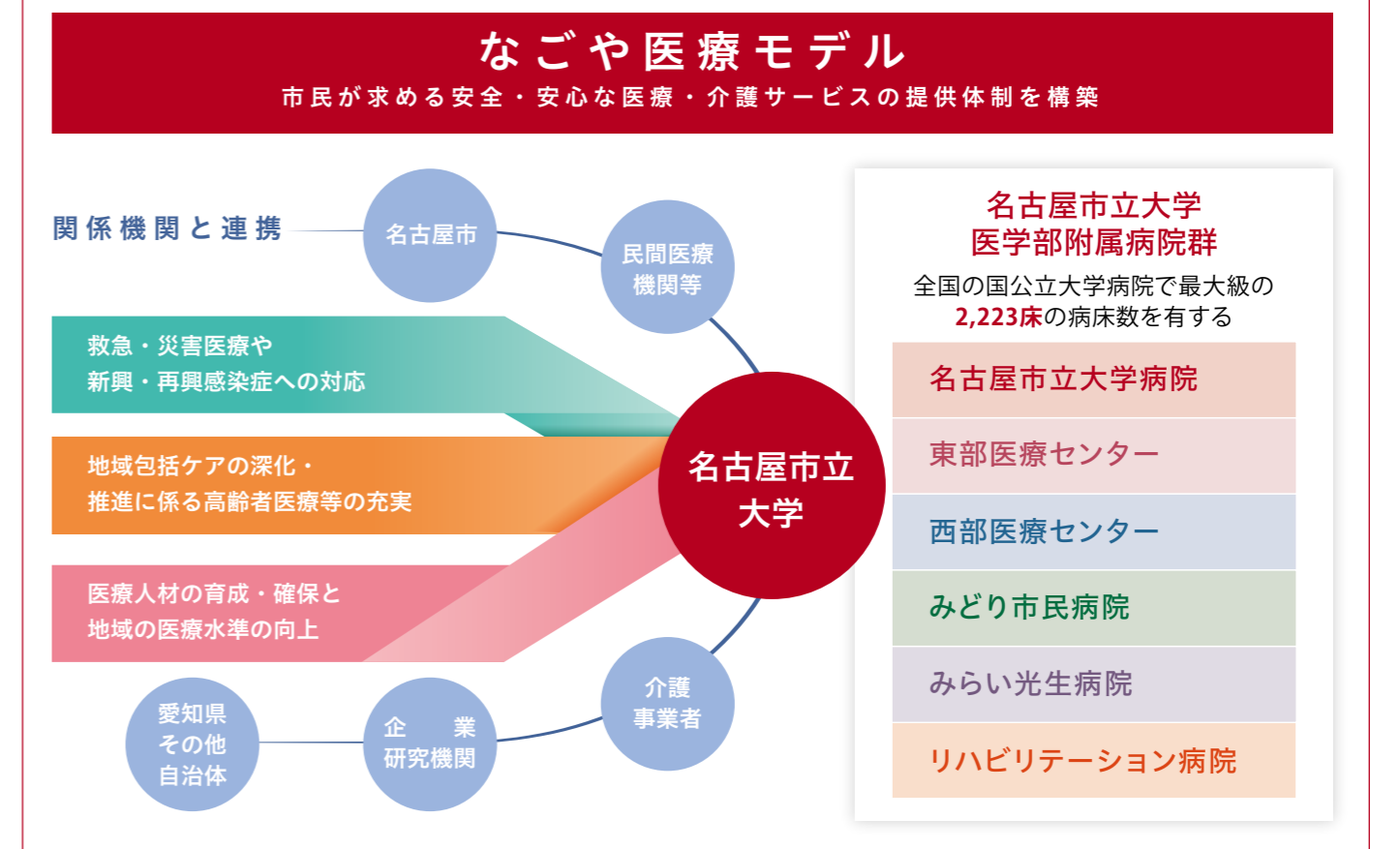
名古屋市立大学医学部の附属病院群は、市立大学病院、東部医療センター、西部医療センター、みどり市民病院、みらい光生病院、リハビリテーション病院の6病院が、それぞれの専門性と役割を担いながら連携し、地域の皆さまと共に医療を支え、歩みを重ねてきました。

附属病院群の特徴は、高度急性期から回復期、慢性期に至るまで、患者さまの状態に応じた医療を切れ目なく提供できる点にあります。**市立大学病院**では、高度先進医療と教育・研究の拠点としての役割を担うとともに、2026年6月には、わが国最大規模となる「救急災害医療センター」を開棟しました。平時の救急医療に加え、大規模災害時にも診療機能を維持し、名古屋の医療を支える中核的な役割を果たすとともに、次代を担う医療人材の育成にも貢献してまいります。**東部医療センター**では、これまで特色とした救命救急医療、感染症医療、心臓・脳血管疾患に加え、2026年度から「愛知県がん診療拠点病院」に認定され市民の生命を守る重要な役割を担っています。**西部医療センター**では、小児・周産期医療や生殖医療、陽子線治療を含むがん医療、脊椎疾患医療など、高度で専門性の高い医療を提供し、安心して出産・子育てができる医療体制を支えています。**みどり市民病院**では、地域に身近な二次救急

を担い、高齢者を中心とした急性期から回復期までの医療を実践し、また新築移転に向けて計画中です。**みらい光生病院**では、回復期リハビリテーションを中心に、認知症、フレイル、予防医療などにも力を入れ、2025年4月に開設した医学部「リハビリテーション学専攻」と協同で人材育成にも力をいれております。**リハビリテーション病院**では、大学病院としての高度なリハビリテーション医療を提供するとともに、医療と福祉をつなぐ拠点として、社会復帰や生活の再建を支えています。

これら6つの附属病院が、地域の医療機関や介護・福祉、行政と連携しながら築いていく医療のかたちを、私たちは「なごや医療モデル」と呼び、わが国の超高齢社会におけるモデルにすべく努めております。これまでも地域と共に歩んできたように、これからも名古屋市立大学医学部附属病院群は、市民の皆さまに寄り添い、名古屋の医療の一翼を担い続けてまいります。今後とも、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 名古屋市と連携し、「なごや医療モデル」における取り組みを推進します



現在、名古屋市では、高齢化の進展状況やその他名古屋市が抱える諸課題を解決するため、名古屋市立大学の機能を最大限活用しながら、民間医療機関をはじめとする関係機関と共に市民が求める安全・安心な医療・介護を提供する「なごや医療モデル」を構築しています。名古屋市立大学は、附属病院群として有する2,223床の病床数を活かして、高度急性期から慢性期まで幅広い医療を提供するとともに、2026年6月に開棟した救急災害医療センターにより、救急医療体制の強化と大規模災害時でも医療を提供し、地域の医療ニーズに的確に対応した質の高い先進的な医療を提供します。

また、健康長寿に資するより効果的な治療方法などの研究成果の還元や地域包括ケアの推進、優れた医療人の育成等を通じて地域の医療・介護の充実を図ることで、名古屋市と連携しながら、「なごや医療モデル」を推進してまいります。

# 附属病院群の機能

## 地域包括ケアの深化・推進

私たちは、高度急性期から慢性期までの病床を有する附属病院群として、地域の医療機関の皆さまと共に、地域に貢献する医療を提供します。



### 名古屋市立大学 医学部附属病院群

**名古屋市立大学病院**  
高度先進医療 救急・災害医療  
がん医療・高難度手術  
小児周産期医療

**東部医療センター**  
救急医療  
感染症医療  
がん医療・高難度手術

**西部医療センター**  
小児周産期・生殖医療  
がん医療・高難度手術  
陽子線治療・脊椎疾患医療

**みらい光生病院**  
回復期リハビリ  
慢性期医療

**リハビリテーション病院**  
回復期リハビリ  
医療／福祉連携

**みどり市民病院**  
二次救急・急性期医療  
地域包括ケア・予防医療

## 私たちが地域に果たす役割

### 医療人育成

- 大学・育成機関**
- 学生実習
  - 病院見学
  - 研修医・専攻医養成
  - 多職種養成

### 医療・介護連携

- 連携病院・かかりつけ医**
- 紹介・逆紹介
  - 人材交流
  - 研究成果の還元
  - 研修機会・勉強会
  - 優れた医療人の育成・供給
- 訪問診療・看護・リハビリ・介護事業者**
- 研究成果の還元
  - 研修機会・勉強会
  - 優れた医療人の育成・供給

### 研究・産学官連携

- 研究機関・企業**
- 基礎・臨床研究（橋渡し研究）
  - 共同研究・寄附講座
  - 新規医療技術・機器開発
  - 研究成果の社会実装

### 地域貢献・政策協力

- 地域**
- DMAT等災害時の医療派遣
  - 国際大会など大規模イベント時の医療派遣
  - 市民向け講座・イベント
  - 高齢者医療・介護予防の充実
- 行政・医師会等**
- 医療政策に関する提言（有識者）
  - その他医療政策に関する支援



# 名古屋市立大学病院



名古屋市立大学病院  
ウェブサイト

## 理念

地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、高い専門性と倫理観を兼ね備えた医療人を育成します

## 基本方針

- ・名古屋都市圏の中核医療機関として、高度先進かつ先端医療を提供し、市民の健康と福祉を推進します
- ・高度情報化のもとに開かれた医療を提供し、情報公開と医療安全に努めます
- ・救急災害医療センターを運営し、救急・災害医療機能を強化します
- ・医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・優れた医学研究の推進を通じて、社会に貢献します

所在地 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地

許可病床数 800床

診療科目 内科/消化器内科/肝臓内科/膵臓内科/呼吸器・アレルギー疾患内科/リウマチ科/循環器内科/内分泌・糖尿病内科/血液・腫瘍内科/脳神経内科/腎臓内科/外科/消化器外科/呼吸器外科/心臓血管外科/小児外科/乳腺外科/形成外科/整形外科/産婦人科/小児科/眼科/耳鼻いんこう科/皮膚科/泌尿器科/小児泌尿器科/精神科/放射線科/麻酔科/脳神経外科/歯科口腔外科/救急科/リハビリテーション科/病理診断科/臨床検査科

基本情報 特定機能病院/地域がん診療連携拠点病院/肝疾患診療連携拠点病院/救命救急センター/地域中核災害拠点病院/総合周産期母子医療センター/日本医療機能評価機構認定病院 (「機能種別 一般病院3」 3rdG: Ver.2.0) /がんゲノム医療連携病院



名古屋市立大学病院は、1931年に名古屋市民病院として発足以来、地域の中核医療機関として高度かつ安全な医療を提供してきました。2004年に病棟・中央診療棟、2007年に外来診療棟、2012年には喜谷記念がん治療センター、2026年には救急災害医療センターを開設。施設の拡充を図るとともに、地域がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センターの指定を受け、病院機能評価(3rdG:Ver.2.0)も取得。大学病院としての機能の強化を進める一方、特定機能病院・高度急性期病院として先進的な医療を推進するほか、市民のための病院として、救急医療と災害医療にも注力しています。2026年6月1日現在、当院は800床の病床を有し、35の診療科をはじめ、中央部門、診療技術部門、薬剤部門、看護部門、管理部門からなる充実の医療体制のもと、笑顔と感動にあふれる病院を目指し医療を提供しています。

2026年6月1日時点



### ハイブリッドER

ハイブリッドERは、救急初療室・CT検査・血管造影を一体化した、次世代型の救急医療システムです。初療から治療まで移動することなく速やかに必要な治療を行うことができます。



### 周産期母子医療センター

災害時にも、安心・安全に出産、新生児ケアを可能とする設備を設けています。



### PET-CT

PET-CT検査は、PET検査とCT検査の両方の検査を同時に行うことが出来る検査で、がんの場所や広がり、悪性を正確に診断したり、治療効果を判定することができます。

## いよいよ桜山キャンパスに救急災害医療センターを開棟しました

遂に2026年6月1日、救急災害医療センターを開棟し、救急車受け入れを開始しました。延べ床面積27,600平方メートルの国内最大級の施設を利用し、“地域の命を、未来につなぐ”をモットーに断らない救急を目指した平時の救急医療を実践します。先進医療の提供と医療人育成の場として救急災害医療センターを活用していきます。さらには、南海トラフ巨大地震震災時には、外傷を始めとした災害医療に加え、透析・出産などの中断することのできない医療を提供します。

名古屋市立大学医学部附属病院群では、名古屋市の掲げる“なごや医療モデル”のもと超急性期から慢性期・回復期リハビリテーションまでのシームレスな医療を実践し、近隣の病院・開業医の先生方と共に市民の皆さまに良質な医療提供を目指します。引き続きご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



名古屋市立大学病院  
病院長 松川 則之

## Topics

### 救急災害機能

名古屋市立大学病院では国内屈指の規模である救急災害医療センターを有し、救急医療の専門家が中心となり平時の救急医療から災害時の緊急体制までをシームレスに行う体制を整えております。そのため地域の最後の砦として重症度や年齢によらず高度な救急医療を提供することが可能です。また病院に到着する前から治療ができるドクターカーを配備しており一刻も早い介入が必要な患者さまの治療を病院到着前から開始できる体制も整えております。

ドクターカー運用に関する動画をご覧ください▶



### 医療人の育成

医師の初期臨床研修プログラムでは、東部・西部医療センターをはじめ附属病院群と連携した研修を行っています。救急災害医療センターにおいて拡充された救命救急センターでの臨床研修や、移転した臨床教育シミュレーションセンターでのシミュレーターを用いた教育を通じて、救急・災害医療で活躍する人材の育成を目指していきます。

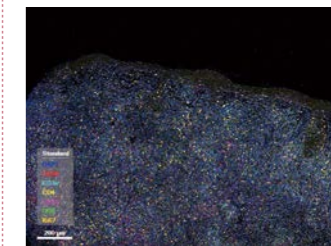
医療系学部との連携を深め、卒前から卒業までのシームレスな教育体制を整えるとともに、医療技術職の大学院進学を推進し、先進医療を担うための専門性と研究に取り組む力を高め、未来の医療を支える医療人を育成します。



### がん医療

～光が切り拓く新たな研究開発拠点形成～

名古屋市立大学では、光を活用した次世代がん医療の創出に取り組んでいます。紫外線・可視光・近赤外光の特性を生かし、がん免疫の制御、治療効果の最適化、副作用軽減を目指した研究を、研究から臨床、さらには社会実装へと一貫したスキームで推進しています。消化器がんや頭頸部がん領域では、光免疫療法や次世代光線力学療法の開発・適応拡大を進めるとともに、PhenoCyclerによる腫瘍微小環境の40ターゲット同時解析など、最先端プロテオミクス解析を導入しています。さらに、がんの存在部位を最新技術で発光・可視化する研究を展開し、精密診断と治療の高度化を通じて、患者さまの生活の質(QOL)向上と革新的ながん医療の社会実装を目指します。



▲皮膚T細胞性リンパ腫に対しての最先端プロテオミクス解析

光が切り拓く新たな研究開発拠点形成





# 名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター



東部医療センター  
ウェブサイト

理念

安全かつ高度な医療を提供し、  
市民のいのちと健康を守るとともに優れた医療人を育成します

基本方針

- ・ 心臓血管・脳血管疾患・がんなどに対する高度・専門医療の充実に努めます
- ・ 救命救急センター・災害拠点病院としての機能を果たします
- ・ 第二種感染症指定医療機関としての機能を果たします
- ・ 地域の医療機関と連携し、地域医療の発展に貢献します
- ・ 医学教育を充実し、優れた医療人を育成するとともに、医学の発展に寄与する研究及び情報発信を行います

所在地 名古屋市千種区若水一丁目2番23号

許可病床数 498床（一般病床488床・感染症病床10床）

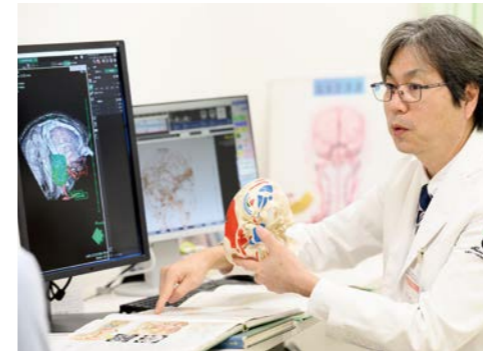
診療科目 内科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／腎臓内科／脳神経内科／血液・腫瘍内科／  
内分泌・糖尿病内科／疼痛緩和内科／感染症内科／外科／呼吸器外科／消化器外科／心臓血管外科／  
脳神経外科／乳腺・内分泌外科／小児外科／整形外科／形成外科／精神科／小児科／皮膚科／泌尿器科／  
小児泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻いんこう科／リハビリテーション科／放射線診断科／放射線治療科／  
病理診断科／救急科／麻酔科／歯科口腔外科

基本情報 地域医療支援病院／DPC特定病院群指定／救命救急センター／地域中核災害拠点病院／  
日本医療機能評価機構認定病院（「機能種別 一般病院2」3rdG:Ver.3.0）／第二種感染症指定医療機関／  
愛知県がん診療拠点病院



1890年、伝染症患者のための隔離病舎を愛知県から引き継ぎ、1901年に避病院として開設。1957年に現在地に移転改築し、名古屋市立東市民病院に改称しました。以来、救急診療棟、心臓血管センター・脳血管センターを次々に開設し、地域の中核病院として救急医療をはじめ、心臓血管・脳血管疾患に対する高度・専門医療の分野で地域医療に貢献。2011年5月名古屋市立東部医療センターに改称後、2013年には地域医療支援病院に承認されました。2015年には救急・外来棟を、2020年には入院・診療棟を開棟。2021年4月より名古屋市立大学医学部の附属病院となり、名古屋市立大学医学部附属東部医療センターと改称。365日24時間患者さまを受け入れる「断らない救急」の実現と高度医療のさらなる充実・強化を目指しています。

2026年6月1日時点



救急疾患に対応する脳神経外科



眼科・運転外来（ドライビングシミュレータ）



臨床修練外国医師の受け入れ  
（耳鼻いんこう科）

## 地域とともに邁進する東部医療センター

大学病院化から5年、市民の皆さまに「いのちを守る高度・専門医療」を提供する体制の整備を進めてきました。救急車の応需は年間8,600件を超えるほどになり、救命救急センターとして、心臓血管や脳血管の重症疾患の患者や、小児救急患者を受け入れ、地域救急医療に貢献しています。当院の使命である感染症医療では、新型コロナウイルス感染症パンデミックの後も名古屋市民の生命を守る中心的役割を果たしてきました。新興感染症対策として感染症学分野が設置され、感染症専門医の養成も行っています。また、合併症の多い高齢者がん診療の中心的医療機関となるべく、がん専門医を教授として招聘し、愛知県がん診療拠点病院としての役割を担っています。とくに、消化器外科、産婦人科、泌尿器科が、手術用ロボットである「da Vinci」を用いて積極的にがん手術を行っています。さらに、無菌室を整備し、白血病などのがん化学療法・放射線療法を含めた総合的ながん治療を進めています。引き続きのご指導を何卒よろしくお願い申し上げます。



東部医療センター  
病院長 林 祐太郎

### ■ Topics

#### 救急医療

2次救急医療機関では対応できない重篤な救急患者に対し、24時間体制で高度な医療を総合的に提供する救命救急センターとして、専用病床を20床有しています。従来からの心臓・大動脈疾患、脳卒中、感染症の救急診療に加え、重症外傷、小児救急の受け入れ体制を確立したことで、年間8,700件の救急応需に向けた取り組みを今後より一層強化します。



ERにおける救急搬送受け入れ

#### 感染症医療

第二種感染症指定医療機関として市内最大規模の感染症病床を有しています。新型コロナウイルス感染症対応においては、2020年2月に市内で初の患者受け入れを行い、2021年4月には22床の専用病床（高次ウイルス感染症センター）を整備し、延べ2万人を超える市内最多の入院患者対応を行ってきました。2024年度には感染症学分野の主任教授が当院に着任し、名古屋市による寄附講座（臨床感染症学）も設置され、次なる新興感染症に備えた感染症専門医の養成や調査研究等にも取り組んでいます。



院内ICTラウンドの様子

#### がん医療

2022年4月に各部門を統括する「先進がん治療センター」を立ち上げ、がんを専門とする教授が次々と着任したことで、大幅に機能強化が図られました。当院は特に高齢・多臓器合併症を有するがん患者さまを積極的に受け入れており、手術、薬物療法、放射線治療による集学的治療を進めています。婦人科がんのロボット支援手術などの新たな取り組みも始まり、「愛知県がん診療拠点病院」としての役割を担っています。



消化器内科・  
消化器外科の  
連携による  
がん診療



# 名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター 名古屋陽子線治療センター



西部医療センター  
ウェブサイト



名古屋陽子線  
治療センター  
ウェブサイト

## 理念

地域に根差した大学病院として高度かつ安心な医療を提供するとともに優れた医療人を育成します

## 基本方針

- ・公立大学病院の使命を自覚し、安心安全で質の高い医療を提供します
- ・がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センターとして、がん医療、小児・周産期医療の充実に努めます
- ・地域の医療機関と連携し、地域医療の発展に貢献します
- ・充実した医学教育のもと、人間味豊かな優れた医療人を育成します
- ・医学研究を推進し、新しい医療の創出を進めます

所在地 名古屋市北区平手町1丁目1番地の1

許可病床数 500床

診療科目 内科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／腎臓・透析内科／脳神経内科／血液・腫瘍内科／  
内分泌・糖尿病内科／外科／呼吸器外科／消化器外科／脳神経外科／乳腺・内分泌外科／小児外科／  
整形外科／形成外科／精神科／児童精神科／リウマチ科／小児科／小児アレルギー科／小児科（新生児）／  
皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻いんこう科／リハビリテーション科／  
放射線診断科／放射線治療科／病理診断科／麻酔科／歯科口腔外科

基本情報 地域医療支援病院／地域がん診療連携拠点病院／地域災害拠点病院／地域周産期母子医療センター／  
日本医療機能評価機構認定病院（「機能種別 一般病院2」3rdG:Ver.2.0）／がんゲノム医療連携病院／  
外国人患者受入れ医療機関（JMIP）認定病院（Ver.3.0）



西部医療センターは、地域の中核病院として親しまれてきた城北病院と城西病院を前身とします。2011年にクオリティライフ21城北内の現地に新築移転し、両院を統合した名古屋市立西部医療センターとして運営を開始。以来、小児・周産期医療、生殖医療、がん医療、脊椎疾患医療の拡充に取り組んでまいりました。2013年2月には、名古屋陽子線治療センターを開設し、東海3県で初めてとなる陽子線がん治療をスタート。また同年9月には地域医療支援病院の承認、2019年4月には地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。2021年4月より名古屋市立大学医学部の附属病院となり、名古屋市立大学医学部附属西部医療センターに改称。地域に根差した大学病院として今後ますます存在感を発揮しながら、地域に住む皆さまに安全で質の高い医療を提供してまいります。

2026年6月1日時点



### こどもアレルギーセンター

アレルギーに悩まない子育てをサポートするため、「こどもアレルギーセンター」を2025年に開設しました。



### 生殖医療センター

女性不妊症、男性不妊症、不育症に加え本格的に生殖医療に取り組むため、「生殖医療センター」を2023年に開設しました。



### 名古屋陽子線治療センター

通院がしやすく様々な治療法と組み合わせた陽子線治療が可能です。

## さらに信頼され、愛される大学病院を目指して

西部医療センターは、小児・周産期医療、生殖医療、がん医療（陽子線治療を含む）、脊椎疾患医療を中心に、高度かつ安全・安心な医療を提供しています。本年、開院15周年を迎え、これまでの歩みを基盤にさらなる発展を目指してまいります。

今後は、救急の充実を図るとともに、地域の医療機関の皆さまと役割を尊重しながら協働し、患者さまに必要な医療を適切なタイミングでつなぐ体制の構築を進めてまいります。また、心不全や骨粗しょう症など増加する慢性疾患に対しては、専門性を活かした外来機能の充実を図り、地域医療ニーズに応じた診療体制の強化に取り組んでまいります。あわせて、医療の流れ（flow）を意識した診療体制の最適化にも取り組んでまいります。

大学附属病院として、教育・研究の推進と医療人の育成にも力を入れ、多職種が連携するチーム医療を通じて、地域に信頼される病院を目指してまいります。今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



西部医療センター  
病院長 森田 明理

## ■ Topics

### 小児・周産期医療

地域周産期母子医療センターとして、NICU（新生児集中治療室）やGCU（新生児回復室）を備え、安全なお産を一丸となってサポートしています。「BFH：赤ちゃんにやさしい病院」として母乳育児支援にも力を入れているほか、小児医療センターでは、0歳から15歳までのお子さんに対する高度専門医療と生活指導を提供しています。



安心して出産・育児ができるよう、入院中から退院後まで継続した支援を行っています。

### がん医療

地域がん診療連携拠点病院として、多職種によるチーム医療を推進し、手術や放射線治療・薬物療法による高度ながん医療を提供します。2013年2月に開設した陽子線治療センターでは、苦しまないがん治療の実現を目指し、生活の質（QOL）を維持しながら行えるがん治療を提供しています。また、NPO法人やハローワークと連携したピアサポート・就労相談を行っています。



陽子線治療センターのガントリー照射室ガントリーを360°回転させることで、どの方向からでも陽子線を照射できます。

### 脊椎医療

超高齢社会となり、脊椎疾患を抱える患者の数は増加傾向にあります。脊椎センターでは、投薬やリハビリ等による保存的治療から顕微鏡による低侵襲手術、側弯や後弯の矯正に注力しています。また、長期化しがちな椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症に対し、早期の社会復帰が可能な医療を提供しています。難治性の歩行障害については、整形外科・脳神経内科・脳神経外科により、多職種で評価し治療しています。



O-arm™により手術中に360°方向から撮像を行うことで、精度の高い手術を行うことができます。



# 名古屋市立大学医学部附属 みどり市民病院



みどり市民病院  
ウェブサイト

理念

地域の健康未来を創造する大学病院として、安全で高度な医療の提供とともに地域医療の持続的発展に貢献する医療人を育成します

基本方針

- ・急性期医療及び回復期医療をワンストップで提供し、「治し支える医療」を実践します
- ・安全で高度かつ先進的な医療の創出とともに、地域医療のニーズに的確・迅速に応えます
- ・地域包括ケアシステムの深化・発展に寄与し、地域との調和及び共生を目指します
- ・「地域を診る心」と「常に学ぶ心」を大切にする誠実で優れた医療人を育成します
- ・先制的かつ集学的な予防医学研究の推進により健康社会の実現に貢献します

所在地 名古屋市緑区潮見が丘一丁目77番地

許可病床数 205床

診療科目 内科／消化器内科／呼吸器・アレルギー疾患内科／リウマチ科／循環器内科／内分泌・糖尿病内科／血液・腫瘍内科／脳神経内科／腎臓内科／外科／消化器外科／呼吸器外科／心臓血管外科／小児外科／乳腺外科／形成外科／整形外科／産婦人科／小児科／眼科／耳鼻いんこう科／皮膚科／泌尿器科／精神科／放射線科／麻酔科／脳神経外科／救急科／リハビリテーション科／病理診断科／臨床検査科



1945年に旧愛知郡鳴海町国民健康保険組合診療所として開設し、名古屋市南部の地域密着型の中核的病院として役割を果たしてきました。1963年に名古屋市が愛知郡鳴海町を編入合併したことに伴い、名古屋市立緑市民病院へ改称。人口急増地区であることから、南館増築と本館の全面改修を経て、患者増に対応するための病床整備を実施。さらに1996年からの2か年計画で北館増設工事を行い、診療体制の整備充実を図りました。その後2012年に指定管理者制度を導入し11年間の指定管理期間を経て、2023年4月に名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院として運営を開始。前身の緑市民病院の医療を引き継ぎつつ、地域貢献型の大学病院として、安全かつ高度な地域医療のニーズに対応した医療の提供に努めてまいります。救急の初期対応をはじめ多様な疾患に対する治療を行うとともに、予防医療など地域住民の健康づくりを支援します。 2026年6月1日時点



緑を取り入れた色鮮やかなMRI検査室



整形外科チーム  
「治し支える医療」をご提供いたします。



カテーテルによる  
不整脈治療

## MIDORI REBORN 2.5 －更なる成長で地域医療に貢献－

大学病院化から4年目となるみどり市民病院は、REBORN第3期に向けて、さらには本格化する新病院再整備を見据えて新たな成長に挑戦します。

急性期から回復期までの「治し支える医療」をワンストップで提供する大学病院として、増大する高齢者の急性期・救急医療において手厚い入退院支援や先進的な低侵襲医療および地域包括ケア病棟の最適運用で、高齢患者特有の多疾患併存状態や入院治療に伴う日常生活能力の低下抑制に対応してまいります。医療を取り巻く状況の変化において、より高次の包括的医療を継続してお届けするため、患者さまの利便性を大切にしつつ、地域医療機関の皆さまや市大病院群との連携をもとに診療体制の再編も進めてまいります。

私たちは質の高い「治し支える医療」により、地域包括ケアシステムの持続的発展と幸せな健康未来の創出に引き続き貢献することをお約束いたします。



みどり市民病院  
病院長 浅野 実樹

### ■ Topics

#### 治し支える医療

急性期病床100床、地域包括ケア病床105床を有し、急性期から回復期医療までの「治し支える医療」をワンストップで提供しています。ロボット支援手術やAI診断内視鏡など安全で高度かつ先進的な医療の提供、新興感染症等への対応、治療後の生活を見据えた医療支援に加え、地域の医療・介護機関等との連携を通じて地域包括ケアシステムの発展に寄与させていただきます。



#### 2次救急の受け入れ対応

緑区を中心とした地域の皆さまに、安心していただけるような救急医療の提供に取り組んでいます。名古屋市の2次救急医療機関として、傷病者の状態に応じた医療を提供し、『かかりつけ医』や急病センターからのご紹介患者さまの受け入れにも対応しています。

また、平日夜間・土曜午後には小児救急外来を設け、地域の子どもの急な体調変化にも対応しています。

#### 予防医療

健康管理センターでは、MRIをはじめとし、マンモグラフィや腰椎での骨密度測定装置などの充実した検査機器を取り揃え、人間ドック、脳ドック、一般健康診断、がん検診、特定健康診査などを実施しております。経験豊富な医師、スタッフで対応し、受診者さまの病気の予防、健康維持・増進のお手伝いや生活習慣病をはじめとする病気の早期発見に努めます。

また、2025年9月より、肺がんや慢性閉塞性肺疾患（COPD）などの早期発見を目的とした『肺ドック』を新たに開始しました。高精細なCT撮影と専門医による画像確認・丁寧な結果説明により、信頼性の高い検査を安心して受診いただけます。





# 名古屋市立大学医学部附属 みらい光生病院



みらい光生病院  
ウェブサイト

## 理念

「健康寿命日本一の名古屋」を目指す医療を地域と連携して提供するとともに、百寿社会に資する先端研究を行い、優れた医療人を育成します

## 基本方針

- ・横断的な診療を担うセンター機能の提供による先駆的な医療を提供します
- ・自立・自活や生活の質 (QOL) の向上に向けて、心身機能回復・維持を目指した医療を提供します
- ・地域包括ケアの拠点として臨床・イノベーションを推進します
- ・高い専門性と倫理観を持ち、医療・介護を支える優れた人材を育成します
- ・健康長寿に資する臨床研究とデータサイエンスに取り組みます

所在地 名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

許可病床数 140床

診療科目 内科/脳神経内科/消化器内科/呼吸器内科/循環器内科/内分泌・糖尿病内科/血液内科/腎臓内科/整形外科/耳鼻いんこう科/眼科/皮膚科/泌尿器科/婦人科/放射線科/精神科/リハビリテーション科/歯科口腔外科/病理診断科



1951年、医療法に基づく病院及び生活保護法に基づく医療保護施設として開設。1982年に現在地に移転改築し、厚生院附属病院と改称しました。2000年4月には、介護保険法の施行に伴い、病院の一部を指定介護療養型医療施設に転換しました。2023年4月より名古屋市立大学医学部の附属病院となり、名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院と改称するとともに、一部の病棟を回復期リハビリテーション病棟に転棟。認知症やフレイルへの対応のほか、先駆的な技術を駆使しながら、患者さまのニーズに合わせたリハビリテーションを実施し、入院時から在宅生活を視野に入れた治療の提供と退院支援等、質の高い医療を提供してまいります。また、大学病院化を機に、専門外来を新たに開始し、様々な疾患に対して、関連する診療科が連携して横断的に診療を行う体制を設けております。

2026年6月1日時点



3.0T MRI

※共同利用検査をご利用いただけます。



Brain Machine Interface (BMI) を愛知県内初導入

※上肢機能を改善することを目的に使用する治療機器。



ヘルスケアアートの装飾されたエントランス

※名東区の木であり、本院敷地内にも植えられているケヤキをモチーフとしています。花言葉は「幸運・健康・長寿」。

## 「健康寿命日本一の名古屋」を目指す医療を

当院は2023年4月、「名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院」として新体制で診療を開始しました。専門外来を設け、各診療科が連携しながら患者さま一人ひとりに応じた医療を提供しています。先進リハビリセンターでは最先端のリハビリにより生活の質 (QOL) の向上を図り、アンチエイジング・レーザーケアセンターでは各種レーザー機器を活用した治療を行っています。また、脳神経医療センターでは認知症の診断・治療に注力するとともに、検診・ドックなど予防医療も推進しています。さらに、急性期治療後の患者さまを受け入れ、地域と連携した回復期リハビリを通じて在宅復帰を支援しています。当院の基本理念の中にあります「健康寿命日本一の名古屋」の実現に向け、「地域を支える、未来へつなぐ医療」を皆さまと連携しながら提供し続けてまいります。

皆さまから信頼され愛される病院となりますよう、職員一同、一丸となって精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



みらい光生病院  
病院長 妹尾 恭司

### Topics

#### 先進リハビリテーションの提供

脳卒中・脳外傷後遺症、骨・関節疾患、神経・筋疾患、脊髄損傷、サルコペニアなどにより活動の制限をきたしている患者さまに対し、自立・自活および生活の質 (QOL) の向上に向けて、心身機能の回復・維持を図る先進リハビリテーションを提供しています。



#### アンチエイジング医療の提供

誰もが若々しく健康的で活動的な生活を送れるよう、皮膚・眼・耳・鼻・口腔内のケアを行っています。保険診療に加え、最先端のレーザー機器を用いた自費治療も取り入れ、若々しさを保つための幅広いアンチエイジング医療を提供しています。



#### 予防医療の推進

年齢とともに多くの方が不安を感じられる物忘れ・認知症の診断治療を精力的に行うとともに、検診・ドックといった予防医療に力を入れています。



- 認知症予防外来
- ライフステージ男性外来
- 摂食嚥下機能評価・訓練プログラム
- 脳メモリードック
- 骨(こつ)・ロコモドック
- MRI臓器がんドック
- 各種検診



名古屋市立大学医学部附属

# リハビリテーション病院



リハビリテーション病院  
ウェブサイト

理念 高度なリハビリテーション医療を提供し、  
地域に信頼される病院をめざします

- 基本方針
- ・安心安全で丁寧な医療を行います
  - ・社会に広く役立つ研究を行います
  - ・思いやりのある医療人を育てます
  - ・自分らしく生きることを支えます

所在地 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

許可病床数 80床

診療科目 リハビリテーション科/整形外科/内科/脳神経内科/循環器内科/呼吸器内科/  
消化器内科/放射線科/精神科/脳神経外科/眼科/耳鼻いんこう科/歯科



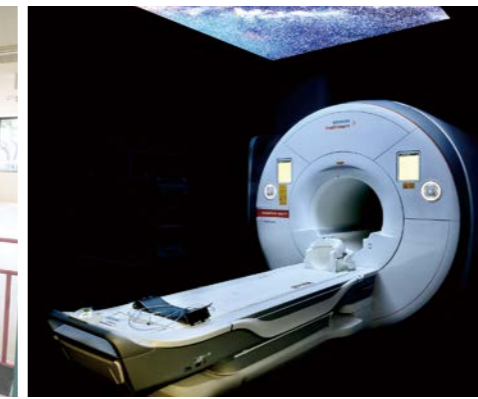
当院は名古屋市瑞穂区の閑静な住宅街の中に位置し、2025年4月より名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院として運営を開始しました。前身の病院は、1989年に障害のある方に対し相談から医療、訓練を経て社会復帰に至るまでの総合的なリハビリテーションを提供することを目的として開設された名古屋市総合リハビリテーションセンターの附属病院としてリハビリテーションを中心とした医療を提供してきました。新たな診療体制においては、医療と福祉の円滑な連携を図りながら、大学病院としての知見を活かした高度なリハビリテーション医療を中心に提供してまいります。先駆的な臨床研究を推進し、倫理観・使命感の高い医療人の育成に努めるとともに、地域の医療機関や介護・福祉事業者の皆さまとの連携を深め、安心・安全な医療を行ってまいります。

2026年6月1日時点



### リハビリテーション室

窓が多く明るい開放感のある環境で、  
リハビリテーションが行えます。



### 最新鋭の検査機器

3T MRIや64列CT、骨密度測定装置など、最新の  
設備による精密な診断を提供しており、共同利用  
検査も可能です。

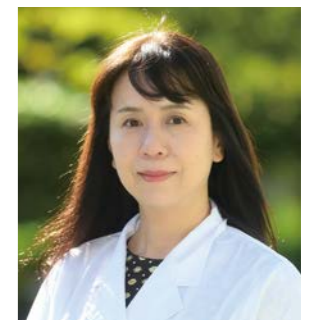


### 多彩な病棟個室と医療DXの推進

選べる多彩な個室に加え、スマートベッド採用に  
よる医療DXにより快適な環境を整えています。

## 地域に信頼され、 ホスピタリティあふれる病院を目指して

2025年4月に開院した名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院は、患者さまが“自分らしく生きる”ことを全力でサポートするために、日々進化しています。先進的なロボットを用いたニューロリハビリテーション医療、痙攣に対するボツリヌス治療、有酸素運動や筋力トレーニングを融合した心臓リハビリテーションなど、的確な病態把握と個性の高いプログラムを提供し、機能回復にとどまらず早期の社会復帰を支援いたします。また、運転シミュレーターを用いた自動車運転適性評価や画像検査の共同利用でも、地域の皆さまにお役立ていただいております。予防医学にも積極的に取り組み、市民の皆さまの健康増進に尽力いたします。回復期病院としての役割を果たし、地域に信頼され、愛される病院を目指して精進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



リハビリテーション病院  
病院長 山下 純世

### ■ Topics

#### 高度なリハビリテーション医療

当院のリハビリテーション科では、「健康寿命の延伸」「先進医療の提供」「臨床研究の還元」「地域の活性化」の4つを使命に掲げています。特に、国内初導入の上肢リハビリテーションロボット「Armeo®Spring pro with ManovoSpring」などの先進機器を積極的に活用しています。これらを従来の訓練と融合させ、患者さまごとに個別化した独自のプログラムを設計することで、質の高い機能回復と社会復帰を支援してまいります。



#### 医療と福祉の連携による人材育成と臨床研究の推進

医療と福祉の連携拠点となる医療福祉センターを設置し、地域の医療・介護・福祉事業者との勉強会を随時開催するなど、多職種が共に学び合える機会を積極的に提供してまいります。さらに大学と連携した社会福祉士の育成や、遠隔リハビリテーションの研究等、医療福祉に関する臨床研究の支援と社会への発信に努めます。



#### 地域に信頼される病院を目指して

高次脳機能障害を含む障害者手帳や医療証などをお持ちの患者さまの受け入れを行い、公的病院としての役割を果たしてまいります。また、防災訓練等の地域行事への参画や図書館等の地域機関との連携、住民向けの病院開放イベントなどの活動を通じ、「地域に開かれた病院」として皆さまと顔の見える関係を築き、その声を大切にしながら、より良い地域医療の構築を目指してまいります。



# 附属病院群とつながる

## ●地域の医療機関の皆さまへ 医療連携のご案内

附属病院群では、紹介・逆紹介を積極的に行っています。また、地域医療機関との連携をより一層推進するため、登録医療機関制度を設けています。詳細は各病院の地域医療連携窓口にお問い合わせください。

### 各病院の地域医療連携窓口

-  **名古屋市立大学病院**  
TEL : 052-858-7131 FAX : 052-858-7130
-  **東部医療センター**  
TEL : 052-723-7359 FAX : 052-723-7356
-  **西部医療センター**  
TEL : 052-991-8145 FAX : 052-856-0049
-  **みどり市民病院**  
TEL : 052-892-1334 FAX : 052-892-1315
-  **みらい光生病院**  
TEL : 052-704-9555 FAX : 052-704-2790
-  **リハビリテーション病院**  
TEL : 052-680-9960 FAX : 052-680-9970



## ●学校関係の皆さまへ 病院見学や実習の受け入れのご案内

附属病院群では、病院見学や実習の受け入れを積極的に行っています。見学や実習、学生の1日体験などご希望の方は、各病院の受け入れ窓口にお問い合わせください。



医学部附属病院群 病院見学・実習のご案内は  
名古屋市立大学ウェブサイトからご覧ください▶



## ●企業や関係機関の皆さまへ 寄附講座・共同研究等のご案内

大学病院として、研究活動や研究成果の還元・発信を積極的に行う医学部附属病院群。新規医療技術・機器・医薬品等の開発を目指した寄附講座や共同研究等を行うパートナーを募集しております。



- 寄附講座に関するお問い合わせ  
名古屋市立大学 教育研究部研究推進課  
TEL : 052-853-8008 FAX : 052-841-0261
- 産学官連携（技術相談・受託研究・共同研究・学術指導等）に関するお問い合わせ  
名古屋市立大学 産学官共創イノベーションセンター  
TEL : 052-853-8041 FAX : 052-841-0261

その他の情報は  
名古屋市立大学ウェブサイト  
からご覧ください▶



## ●地域の皆さまへ 公開講座のご案内

附属病院群では、高度先進医療や研究活動から得られた知見やノウハウを公開講座を通して積極的に還元しています。市民の方や医療・介護事業者の方向けなど多彩な講座を設けています。



医学部附属病院群 イベント・公開講座情報は  
名古屋市立大学ウェブサイトからご覧ください▶



## 附属病院群の

# 取り組みを知る

附属病院群は、多彩な個性を持つ病院で構成されています。医療機能の特長だけでなく、教育や研究に関する独自の取り組みや地域とのコラボレーションも。

- #医療機能 #教育 #研究成果 #地域貢献 #地域医療連携 #時の人 #名市大病院  
#東部医療センター #西部医療センター #みどり市民病院 #みらい光生病院 #リハ病院

